

生き物教室 ～夏・秋・冬～

今年度は「生き物教室」を年間3回（夏・秋・冬）開催しました。有馬富士学習センターから、生物や植物についての専門的な知識をお持ちの先生をお招きし、幼稚園・低・中学年の児童を対象に、学校や母子の里山を散策し、植物や生き物の観察や採集を行いました。



夏の生き物教室（7月6日）

「川の中の生き物の観察」

網を持って青野川に入りました。水カマキリ、ヤゴ、メダカ、カワムツなどの生物を捕まえて顕微鏡で観察しました。更にスケッチをして細かい部分まで研究しました。有馬富士自然学習センターの先生を講師に迎えて、大型テレビで生物を拡大し、興味深いお話を聞くことができました。



秋の生き物教室（9月14日）

「地上で生きる生物」

網を持って運動場にいる虫たちを追いかけました。たくさんの種類の虫たちを捕まえて、多目的室で講師の先生の指導の下、分類分けをしました。「チョウの仲間」「ダンゴムシの仲間」「コオロギの仲間」「バッタの仲間」に分類しました。



冬の生き物教室（2月1日）

「土の中の生きものの観察」

数日前の大雪が残る畑を掘り起こし、冬の土の中には生物がいるのか、調査しました。ミミズなど数種の生物を発見し、顕微鏡で観察しました。特にアリの卵を運んでいるのは大発見でした。

川の中の生物、地面を舞台に生きている生物、雪の下で越冬する生物など、年3回の生物教室は子どもたちにとって生物に対して、一層興味を引きつける機会となりました。